

## 時事の話題

### 円高・株安、日銀総裁人事について

米国経済の減速、金融市場の混乱による円高株安が、景気の下振れリスクを高めている。来年度以降、急激な円高による不透明感がより拡大し、各企業の収益力・国際競争力が試されるだろう。政府には、構造改革・規制緩和を推し進め、格差是正のための分配論に終始するのではなく、分配のためのパイを大きくする経済成長のための施策議論を進めてもらいたい。

日銀総裁人事については、世界金融情勢が不安定な中で、総裁が空席になることは想像もしていなかった。このまま現在の政治状況が続けば、世界経済の中で日本経済がより一層衰退しかねず、大変憂慮している。道路特定財源の問題に関しても与野党の修正協議が不成立になれば、総選挙を求める国民運動が起こるかもしれない。衆参ねじれのなかで、与野党が知恵を出しあい、政策決定を円滑に進めていただくように要望したい。

### 京都経済の景況について

ハイテクを中心とした輸出関連企業にとっては、円高・ドル安は大きな懸念材料であり、為替差損による大幅な利益減少が懸念される。また、引き続き、原材料価格の高騰により中小製造業の収益悪化が鮮明になっている。株式市場の低迷が消費者心理を悪化させて、個人消費にも悪影響を及ぼしている。

来年度は、円高・株安、原材料価格の高騰など、下振れリスクの課題を背負い、「売る力」「作る力」「開発する力」といった企業の実力が、市場から選別される 1 年になる。会員企業には自社事業にとって、円高のメリットとデメリットを見極めて、中長期的な打ち手を間違いないで行うことを要望し、必要により本所としても支援していきたい。

## 京都商工会議所の動き

### 平成 20 年度事業計画（案）について

昨年 11 月に策定したニュー京商ビジョンに基づいて、平成 20 年度の事業計画（案）をまとめた。

中小企業振興では、相続に悩む小規模事業者を支援する事業承継支援センターの設置や、求職者を支援するジョブカードセンターの設置を盛り込んだ。

知恵ビジネス育成では、「知恵産業・経営大会」の開催、知恵ビジネス育成事業の実行部隊となる「知恵ビジネス推進室」の設置、産学公のオール京都で知恵産業推進のあり方を検討していく「知恵産業研究会」を立ち上げることとした。

京都の都市格向上では、重要な事業をより深く掘り下げ、まちづくり、ブランド推進につながるものとした。会員へのサービス強化にも力を入れ、ホームページの刷新や、会報の充実といった情報発信、会員視点のマニュアル作成など、利用促進に重点を置いた事業を打ち出した。そのほか、行政などへの提言・意見活動を充実させるため、京商政策フォーラムも開催する。

この事業計画は、正式には3月27日に開催する議員総会において最終的に承認されることとなる。

なお、ビジョンを推進していく体制として、事務局の機構改革を行う。事務処理をこなしながらも提案を行う事務局体制を目指し、中長期視野に立ってビジョンの推進を進行管理する「企画室」を新たに設置する。関連する事業の所管を集約するなどして、組織のスリム化と効率的な事務分担に努めた。

### **環境対策特別委員会について（CO2 排出量削減の自主目標設定）**

3月19日に環境対策特別委員会を開催し、会員企業の温室効果ガスの削減を促す取り組みについて協議した。

現在、京都市の地球温暖化対策条例により、特定事業者149社が報告書を提出している。本所では、従業員100人以上の企業約1,000社に対して、自主目標を掲げてもらい、事業者向け環境家計簿を作成し、本所に削減報告を行ってもらうよう奨励していくこととなった。引き続き、府・市のご指導を得て、実施に向けて準備を進めていきたい。また、その他の会員企業に対しても、排出量削減に対する意識を高めていただくための広報活動を行っていく。

### **記者からの質問事項**

#### **平成20年度事業計画（案）と事務局機構改革のねらいについて**

ビジョンの具体的な推進を図るための組織体制を基本においた。そのための企画・提案の能力をいかに高めるかということに重きを置いて、「企画室」を従来の総務から独立させ、国・府・市に対する提案力を付けていくことを主眼に組織を考えた。本適材適所を基本に、人材の活性化のための再配置も行った。

#### **副市長に細見吉郎氏が就任する京都市人事について**

経済界から副市長に起用されるのは、45年ぶりとのことで歓迎している。細見さんは本所の常議員としても6年にわたりご活躍いただき、京都経済同友会の副代表幹事を歴任されるなど、幅広い人脈をお持ちで、卓越した経営感覚をお持ちの方だ。市政に市民感覚と経済活性化を反映させる人事だと評価したい。特に、ニュー京商ビジョンの基本方針「知恵産業のまち・京都の推進」の実現に向け、府・市・会議所連携した取り組みに手腕を発揮いただくことを期待したい。

### スタートして1ヶ月経った門川市長への評価について

「食の安心・安全条例の制定」に向けての検討や、京都市の病院事業について独立行政法人化を含めてあり方を検討するなど、市民目線の施策と行政の効率化をバランスよく推進されている。まずは、肉付け予算の内容がどのようなものになるか、期待しながら見守っていききたい。

以 上